

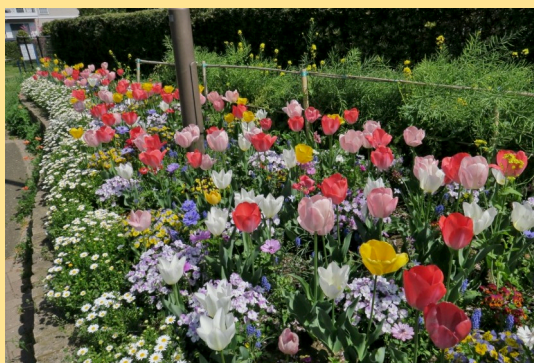
今年もさまざまな花壇が公園を彩りました！

皆さまからいただいた写真を紹介します！

「球根ミックス花壇写真募集2022」にご応募いただいた写真の一部をご紹介します。



三ツ沢南町公園（神奈川区）



上星川あおぞら公園（保土ケ谷区）

球根だけでなく、一年草や多年草を併用した花壇の写真も多く見られたよ。ご応募いただいた写真は横浜市のホームページにも掲載しているので、ぜひ見てみてね！たくさんのご応募ありがとうございました！



公園愛護会キャラクター
あいごぼん



横浜市公園愛護会
ホームページ



荏田富士塚公園（青葉区）

通信
78号



公園愛護会

公園へGO!! ボランティア活動中

2022.7月発行

公園愛護会通信は、公園愛護会活動がより活発に行われるように、活動に関する情報提供や、活動の事例紹介等を行うための情報誌です。

公園愛護会のロゴが新しくなりました！

従前のロゴより、見やすく、親しみやすさを感じていただけるよう、新たにデザインしました。縦書きや横書き、印鑑タイプ、円状のマークなど多様な種類を作成しています。

横浜市のホームページに掲載していますので、公園愛護会に関する広報などに幅広くご活用ください。

こうえん あいごかい
公園愛護会



公園愛護会PRチラシを改訂しました！

横浜市では、公園愛護会制度を紹介するチラシを作成しています。この度、公園愛護会の紹介だけでなく、新規に加入したい方に向けた情報を充実させ、改訂しました。QRコードも付け、ホームページへのアクセスもしやすくしました。

各区土木事務所や公園緑地事務所、図書館などに配架し、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。必要な場合は、所管の土木事務所・公園緑地事務所にお問合わせください。



緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

を受賞しました！

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは、緑化活動の推進、緑化思想の普及啓発に顕著な功績のあった個人、団体について、内閣総理大臣が表彰するもので、昭和59年から毎年実施しています。

大原西公園愛護会は、自治会員約360世帯すべてが構成員となっており、地域一体となって活動を行っています。「花と緑と人が一体のまちづくり」を目標に、連合自治会、小学校等と連携しながら、地域の子供たちと花苗の植え付けなど緑化活動に積極的に取り組んでいます。

年間を通して防災訓練やもちつき大会なども開催し、地域の結びつきを高めるとともに、週4～5回の公園での緑化活動を続け、これらの活動をまとめた季刊誌を発行するなど、広報にも努めています。



表彰の様子（天皇后陛下もご臨席）

内閣府提供



こまめに清掃され、美観が維持されている園内



上白根小学校の生徒と公園愛護会、土木事務所が協働で植樹したヨコハマヒザクラ



大原西公園愛護会の皆さんと山中市長で記念撮影

大原西公園愛護会
渋谷 八郎 会長

「一言でいうと、青天のへきれき。受賞するとは夢にも思っていませんでした。愛護会の活動を評価していただいたことを皆で喜んでいます。これからも活動の輪を広げていきたいと思っています。」

愛護会活動時の事故やケガを防ぐために

愛護会活動で最も重要なことは、「無理のない範囲で安全第一に活動する」ことです。事前準備や注意点を十分把握してから活動することが、愛護会の皆さまだけでなく、公園利用者の事故やケガの防止につながります。



事故事例

1 清掃中に、段差につまずいて転んだ

対策 活動前に周囲の段差や障害物の確認をしましょう。

2 草刈り機で草刈り中に、小石をはねて車のガラスを割った

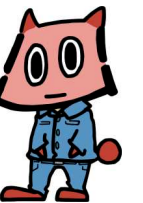
対策 横浜市では、安全性の高い2枚刃の草刈り機（カルマー）を使用することを推奨しています。カルマーの使い方の講習を受講することや、各区の土木事務所でカルマーの貸出を受けることもできます。

3 虫に刺された

対策 活動中は、長袖、長ズボンで活動することを推奨しています。

4 熱中症になった

対策 特に夏季の暑い日や暑い時間帯は無理をせず、急に暑くなった日は特に注意しましょう。こまめに水分補給をし、適宜木陰で休息をとりましょう。大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに摂取しましょう。



- ・愛護会活動中の事故を防ぐため、斜面地での作業やはしごや脚立を使っでの作業、高所での作業は行わないでください。
- ・道具・機械を使用する作業は、重大な事故やけがにつながる場合がありますので、気を付けましょう。
- ・必要に応じて、公園利用者に活動中であることを、看板などでお知らせしましょう。

* 事故が起きた場合のお願い *

公園愛護会の活動中に万が一、事故が起きた場合は、土木事務所・公園緑地事務所までご一報ください。

～市民活動保険のご案内～

ボランティア活動をする方が安心して活動を行えるように、横浜市があらかじめ保険料を負担し、保険会社と契約をしている制度です。事前の加入や登録の手続きは必要ありません。市民活動保険の詳細は、前号（公園愛護会通信77号）同封のチラシをご確認ください。横浜市のホームページにも記載があります。

横浜市 市民活動保険

検索

コーディネーター便り

公園愛護会活動のお手伝いをする
各土木事務所の専門の相談員の紹介です。

港南区

わたり
渡里コーディネーター

今年の4月から、港南区の公園愛護会等コーディネーターとして着任しました渡里と申します。

以前は小学校で理科支援員として実験のサポートや植物や生き物を育てたり、子どもたちとふれあいながら、約10年勤務しておりました。

お花が大好きで、これからはコーディネーターとして地域の皆さんとふれあいながら、愛護会活動を盛り上げていく力になれるよう頑張っていきたいと思います。また公園で見かけたら声をかけてください。どうぞよろしくお願いいたします。



金沢区「釜利谷赤坂公園愛護会」が第33回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞！

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰とは、国土交通省が花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、国民運動としての緑化推進活動の模範として表彰するものです。

釜利谷赤坂公園愛護会は昭和48年3月より活動を始め、現在会員数約15名で組織され、樹木の手入れ、花壇の管理、除草・清掃等を行っています。特に花壇管理に力を注いでおり、季節ごとに花苗の植替えを行い、四季を織りなす景観がとてもきれいに整備され、公園を訪れる人々を魅了しています。



～2027年横浜国際園芸博覧会に向けて～

オランダ アルメーレ国際園芸博覧会が開幕 「里帰り花壇」が来場者をお迎えしました

4月14日にオランダのアルメーレで国際園芸博覧会が開幕しました。日本国屋外庭園では、3月号でご紹介した「里帰り花壇」にチューリップをはじめとした優しい色合いの春の球根の花たちが次々に開花し、来場者をお迎えしました。山下公園で育てたミヤコワスレもオランダに渡り、可憐な花を見せてくれました。これから夏や秋にかけては、季節と共に移り替わる草花の自然な植栽が、来場者の目を楽しませてくれます。

屋内の展示館でも、山下公園での球根ミックス花壇講習や里帰り花壇を紹介した動画を放映しています。アルメーレ国際園芸博覧会の様子は、2027年国際園芸博覧会協会のホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。



QRコードから
アクセスできます。



里帰り花壇の様子

公園に施設を設置するには許可が必要です。公園愛護会マニュアルをご確認ください。

公園管理者（土木事務所及び公園緑地事務所）以外の者が公園に倉庫等の公園施設を設置する場合は、所管の事務所の許可が必要です。

公園愛護会マニュアルの7ページに各種許可申請の内容を記載していますので、ご確認ください。マニュアルは右のQRコードから、横浜市のホームページでもご覧いただけます。



横浜市公園愛護会
マニュアル掲載ページ

公園管理・公園愛護会通信の配布部数に関するお問合せは、各土木事務所・公園緑地事務所をお願いします。

※バックナンバーは横浜市公園愛護会のホームページから

発行／横浜市環境創造局公園緑地維持課 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10(27F)

電話:045-671-2650 FAX:045-664-2588 Eメールアドレス:ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行月:令和4(2022)年7月